

第160回定期大会 開催



前橋市大手町
3-1-10
群馬高教組
027-231-2784
ghtu@educas.jp
<http://www.ghtu.org/>



5月29日（土）13時より第160回定期大会が開催されました。今回はコロナによる開催予防のため、初めてのオンラインによる開催となりました。教育会館3F中会議室をメイン会場として大会役員が集まり、一般参加者はリモートという形を基本としました。初めての試みのため、どうなるか心配な点もありました。実際、大会終了間際、決議文の読み上げ中にバッテリーがなくなり、参加者からの映像が本部では見られなくなるといったトラブルもありました。全体としては概ね順調に進められました。今後もこのような形で諸会議が行われていくことが予想されます。感想・意見等をお寄せ下さい。

【委員長あいさつ】
映画の「スタンダードバイミー」を子どもと一緒に見て「やっぱりいいな」と思った。子どもたちは馬鹿なことをして、失敗して、いろいろな経験をして成長していく。

管理職は失敗をおそれて、どうでもいいことに汲汲とさせている。

状況は、中曾根の臨教審以後、どんどん悪くなっている。安倍晋三の時は教育基本法改悪が行われた。

一人一台のタブレットは経済優先になつてないか。

学生時代のすべての成績が保存・管理され明るいニュースとしては小学校30人、中3まで35人学級が実現す

た教育を目指す「300万署名」の積み重ねの成果。高校にまで広げることが課題。

高教組の若い人の拡大は県労会議でも刺激を受けている。組合活動をしている先生から大きな影響を受けた。

【応答】萩原書記長

管運事項だけではなく、勤務条件の側面も変える方向にはならないのか。学校の運営にも影響する。

【主な発言】

○平尾行敏全教書記次長（リモート参加）

密な状況で授業を受けている。課題として、一斉休校はないが、PCR検査、学力検査の廃止、生理用品の無償など。

○春山（副委員長・前東）HPを刷新したい。職場の様子を伝えてもらえるHPに。

○水田（副委員長・伊商）「高教月報」でも情報を集めたい。組合のICT化も考えていく必要がある。

○濱谷（委員長・前特高）HPのシステム変更を考えていきたい。「ワードプレス」を導入。データをオンラインでやりとりできる。



平尾行敏 全教書記次長 (リモート)

オリンピック・パラリンピックは中止し、コロナ対策を優先といふのが多数の国民の声。入管法改正は市民の声で政府が断念する。憲法を守ることが重要。

中曾根（前工）内示・内々示は規則を変える方向にはならないのか。学校の運営にも影響する。

【質疑】

中曾根（前工）内示・内々示は規則を変える方向にはならないのか。学校の運営にも影響する。

【応答】萩原書記長

管運事項だけではなく、勤務条件の側面も変える方向にはならないのか。学校の運営にも影響する。

【主な発言】

○平尾行敏全教書記次長（リモート参加）

密な状況で授業を受けている。課題として、一斉休校はないが、PCR検査、学力検査の廃止、生理用品の無償など。

○春山（副委員長・前東）HPを刷新したい。職場の様子を伝えてもらえるHPに。

○水田（副委員長・伊商）「高教月報」でも情報を集めたい。組合のICT化も考えていく必要がある。

○濱谷（委員長・前特高）HPのシステム変更を考えていきたい。「ワードプレス」を導入。データをオンラインでやりとりできる。

オリンピック・パラ

コロナ対策を優先といふのが多数の国民の声。入管法改正は市民の声で政府が断念する。憲法を守ることが重要。

○大山（フォーラム）
ICTで激変する現場の様子は？

○神保（玉村）
4月からクロームブックを一斉に配る。スタディサプリ・クラスルームの利用が始まり、課題の配信などが行われている。数学の宿題など回収率はよい。機械に使われるのではなく、使いたい。実際は、県や校長から使ってくれと言っている。進路アンケートにも利用されれている。学校では教員が使い込み始めている。全くやつていないう人もいる。



○田口（前橋清陵）

徒もいるが、全体的に長けている人は使っている。使い方などを気軽に質問できる人が必要。

○梓田（高工）



○内川（高経附）
昨年度 iPad が配布された。クラッシャー・スタサブなど様々なアプリを導入。欠席連絡・土曜補講・課題など幅広く利用している。生徒は課題をやる時間が個人的にスタディサプリを使っている生徒たち。個人的にスタディサプリを使っている生徒たちは長いが、全体的に長けている人は使っている。使い方などを気軽に質問できる人が必要。



○水田（伊商）
食わず嫌いはしない方がよいのでは。色々な広報などは紙の節約になる。欠席連絡では事務の負担軽減になる。得意な先生との会話のきっかけになる。ユーチューブを使って学年の保護者会を行った。

○八重樫（波工）
集会はリモートでクロームブックを活用。再びの分散登校に備えて各クラスでクラスルームを準備。校長参観授業ではクロームブックを使用の圧力を感じる。クロームブックを使わない授業を追求したい。準備には時間がかかる。

プリは教員が自分の勉強として見ている。

○深井（新田暁）

ICTには懐疑的だつたが、やつてみると便利。生徒は教員より長けているので、反応は悪くない。テスト前の勉強に活用。授業の一部でも使うと飽きない。

○濱谷（前高特）

○平尾行敏（全教書記）
次長 国際的に見たら、20人学級は国際水準になつていて、分散登校時の20人学級の反応はよかつた。すぐには無理かもしれないが、その方向性はよい。



第160回定期大会(w e b)に参加して 神保聰志（玉村高校分会）

今回、私は初めて分会の代議員として定期大会に参加しました。昨年度までは執行委員として出席していたので、いつもとは少し違った面持ちでした。また、初めてのWeb開催という点で、執行部ではないのにちょっとドキドキしながら、開始時間から10分遅れて「ミーティングに参加」をクリックしました。まずはつながってホットしました。

本部からの報告事項で最も注目したのは、茨城県立高校入試における採点ミスについての詳細な資料です。令和3年度学力検査を実施した93校中53校408件の採点に誤りがあり、そのうち3校で、合格とすべきところを不合格としていたとのこと。多くの処分者がでたそうです。23時まで採点していた高校もありました。記述の多い国語や社会ではミスが多かったようです。私も社会科なので人ごとではないと思いました。

討論の時間では、各校の方々からICT活用の現状についてお聞きでき、私も大いに参考になりました。このような交流の機会があることで、現場での不安なども払拭できると思います。リアルな会議はもちろん、Webでの会議にもぜひ参加してみてください。

○春山（前東）総合学科20人学級を担当して、その良さを感じている。生徒に対応しやすい。全教は20人学級を打ち出していく、自分は賛成であるが、他の方は20人学級をどう感じているか。「みんなのまど」で伝えていきたい。

凌川・加藤 裕子

○平尾行敏（全教書記）
次長 国際的に見たら、20人学級は国際水準になつていて、分散登校時の20人学級の反応はよかつた。すぐには無理かもしれないが、その方向性はよい。